

目次

□巻頭言 21世紀の日本を築くため 建設の機械化に期待する .....井上 六郎 / 1

東海道・山陽新幹線の新駅設置工事計画 .....池田 昭 / 8

通勤別線建設に伴う池袋～新宿間改良工事 .....松岡 義幸 / 7

東海道新幹線の雪対策 .....関 雅樹 / 12

PCウェル工法の開発 .....千田 昌平 / 19

大鳴門橋橋面舗装工事 .....淵田 政信 / 23  
鈴木 周

□随想 通勤について .....神谷 朗男 / 30

最近のコンクリート舗装補修機械 .....高内 野藤 / 32  
光 顕

中国建設機械化協会設立の紹介 .....水谷 裕 / 37

グラビヤ——昭和60年度建設機械展示会

昭和60年度建設機械展示会（東京）見聞記 .....黒田 満穂 / 39

□昭和59年度官公庁・建設業界で採用した新機種  
建設業界（2） .....兼子 功 / 40

□新工法紹介  
URT工法 / TAパイプルーフ工法 /  
OSD工法 / OSH工法 / MVCP工法 / .....調査部会 / 50  
水砕パイル工法

□新機種ニュース .....調査部会 / 56

□ISO規格紹介  
土工機械に関するISO標準規格（6） .....ISO部会 / 61

□文献調査  
乱立状態にある土留め壁 / 地域情報の電算  
処理 / 窒素ガスによるコンクリートの冷却 .....文献調査委員会 / 65

□支部便り  
支部通常総会開催 ..... / 68  
建設機械優良運転員・整備員の表彰 ..... / 78

□統計  
建設工事受注額・建設機械受注額の推移 .....調査部会 / 82

行事一覧 ..... / 83

編集後記 .....（橋口・鈴木重） / 86

◀表紙写真説明▶

三菱パワーショベル MS450-8

三菱重工業株式会社

本機は、三菱パワーショベル MAX シリーズの最大型機に位置づけられる新鋭機であり、大型バケットと強力な掘削力により大型工事に活躍している。足回りは全長5,125mmの大型を採用し、安定性を確保するとともに高速4.5km/hr 低速3.0km/hr の高速走行が可能な点や32tのけん引力、さらにインシュータータイプの走行モーター等機動性、走破性でも群を抜いている。また、エアコン常装備のキャブ、油圧パイロット式 Joy Stik コントロールレバー、布張りシートを採用などにより居住性の向上をはかるとともにエアブリケータをツールボックス内に収納するなど、使い易さも徹底的に追求している。作業性能は最大掘削深さ7.7m、最大掘削力と強力20.5tと強力であり、10tから30t級のダンプと最適マッチングである。

◀主な仕様▶

バケット容量	.....1.7 m
機体重量	.....43.2 t
エンジン出力	.....280 PS
最大掘削深さ	.....7.700 mm
最大掘削高さ	.....10.800 mm
最大掘削半径	.....11.910 mm
最大ダンプ高さ	.....7.400 mm